

シオンの子

第 24 号

2010.4.28



虹色 ひまわり畑
小6 女子

おじいちゃんへの手紙

小学三年・女子

お元気ですか？私は元気です。今、私はともだちと遊ぶことが大好きです。おじいちゃんは、好きなことをしていますか。

この前、おじいちゃんが、お兄ちゃんやけいちゃんや私のために、スカイランドパークにつれていってくれて、ありがとう。スカイランドパークにつれていってくれた時、お兄ちゃんと、車であそんだよ。お兄ちゃんと乗ってあそんだんだ。「たのしかったなあ」と思います。おじいちゃんは、二度もスカイランドパークに連れていってくれたね。うれしかった。お兄ちゃんと、ジェットコースターにのつたこともたのしかった。少しだけけどアンパンマンのげきをおじいちゃんと、けいちゃんと見たね。かんらん車にもものつたね。たのしかったよ。

おじいちゃんは、会いに来てくれる時は、いつもようふくや、くつをかってきてくれてありがとう。さいしょ、おじいちゃんがきてくれた時に、DSを買ってくれたね。ありがとつ。こんど家にかえった時に、おじいちゃんのおてつだいするからね。かえった時に、クッキーつくってあげるね。いつもありがとつ……。またいきたいな。おじいちゃんは、おしごとがんばってね。

・学園「詩・作文コンクール」

・小学校低学年の部 優秀賞作品

編集
発行 印刷

E-mail

社会福祉法人子持山福祉会
児童養護施設子持山学園

komochiyama1952@mist.ocn.ne.jp

〒377-0203 群馬県渋川市吹屋 201-1

TEL 0279-23-1152 FAX 23-1153

支えられて三〇年

児童養護施設子持山学園
名誉園長 中澤 文子

私は昭和五四年九月に子持山学園の創立者中澤英三と結婚して、一月から子持山学園の職員になりました。当初園長秘書のような仕事と朝食時の調理の手伝いで、主に子どものお弁当作りをしていました。翌年の七月頃から中澤は体調を壊し、八月には糖尿病とすることで入院してしまいました。中澤はその年の九月に開催される「第三四回全国養護施設長研究協議会」で会長として開会挨拶をする事になりました。何ともしもご挨拶したいという思いが強かったのか、三週間退院し、九月二四日には岐阜の大会で会長としてご挨拶することができました。一〇月には再入院しました。肝臓

ガンとのことでしたが、ガン細胞は一度も検出されなまま、翌年一月二〇日静脈瘤破裂により、あつという間に天に召されてしまいました。その後私に思いがけない園長就任の話があり、何度もお断りしたのですが、理事会と職員の総意とすることで、やむをえずお受けしました。群馬県知事から「社会福祉施設長資格認定講習」受講を条件に施設長就任の認可がありました。児童福祉も養護施設についても何も分らない私は必死に勉強しました。電話が鳴る度にびくつとしたものです。主任保母が「三年の辛抱です。三年たてば何でも分るようになりませう」と励ましてくれました。私の唯一の財産は中澤が僅か数か月でしたが色々な会議などに連れて行ってくれ、児童福祉施設や他の社会福祉施設、大学の第一線で活躍していらつしやる先生方に紹介してくれたことでした。慣れない仕事と勉強で大変でしたが、何とか一年間の講習の見通しがついたので、どうせするならば社会福祉を基礎から学びたいと、佛敎大学通信教育の社会福祉学科に編入しました。クリスマスチャンが佛敎大学はおかしいのですが、当時通信教育で社会福祉が学べるのは佛敎大学だけでした。レポートを提出しては試験を受けるの繰り返しでした。最短距離で卒業しなければ子どもや職員に示しが付

かないと思いましたが、佛敎大学はとも面倒見の良い大学で、スクーリングでは良い先生や友人に出会いました。長いスクーリングの間は、次長や職員がしつかり留守番をしてくれました。園長になって間もなく、村役場を課長で定年退職した方が、事務局長として就任されました。戦争中陸軍将校だったとことで姿勢が良く礼儀正しい几帳面な方でした。事務的なこと理事会関係のことなど色々教えていただきました。平成に入り園舎の老朽が進んで全面改築することになりました。様々な困難に直面している時、県の担当課の課長さん係長さんはじめ多くの方々に大変お世話になりました。今でも当時のことは忘れられません。中澤が天に召された後次々と理事長が代り、色々なことがありました。理事長さんには本当に沢山のことを教えていただきました。三〇年の間には様々なことがありました。出口の見えないトンネルの中に入ってしまった途方に暮れた時、私にできることは神様に祈るだけでしたが、その都度人間の考え及ばないような解決が不思議と与えられました。今年二月末に中澤が可愛がつていた卒園生が奥さんと一緒に、「お陰様で定年退職しました」と挨拶を見えました。私は直接は知らないし何のお世話もしていない

のに、お母さんと呼んで良くしてくれています。又、三月には中学卒業後一度も音沙汰がなかったEちゃんが、同期のKちゃんと突然訪ねてきました。今年三七歳とのことですが最初は誰だか分かりませんでした。よく見ると昔の面影が残っていました。友達に園長先生が退職したつて聞いたので、「今日は五時起きして来たんだよ」とのこと。胸が熱くなりました。私はこの子たちや今迄共に生活した子どもたちに十分なことをしただろうか、全力投球しただろうかと反省させられました。昭和五四年一月から平成二一年三月末迄約三〇年間に、その時その時働いて下さつた職員、法人役員、児童養護施設の先生方、地域の方、後援会、ボランティア、関係機関の方その他大勢の皆様のご協力ご支援と、神様の御守りと導きにより、子どもたちと共に歩むことができましたことは、大変ありがたく感謝しております。皆様本当にありがとうございました。



今日も元気で 頑張っています

児童養護施設子持山学園
園長 豊田 誠

子持山学園に勤め一年がたちました。多くの人々が関心を持ち、様々な立場から関わりを持ってくださっていることや、大きな善意に感謝の思いで一杯です。児童養護施設は何らかの事情で家庭での生活が困難な子ども達も共同で生活をしている所です。それ故、学園では多くの課題を抱え、子ども達の自立に向けての日々の処遇に取り組んでいます。そんな時、頼もしい存在は児童養護施設の研修会や情報交換会です。群馬県、関東地区、全国に協議会があり、施設が直面している今日的な課題について研修、情報交換等連係をとっています。世界が広がり勇気をもらえます。全国大会の折り、舞鶴学園の桑原先生にお会いで

きました。テレビの番組で舞鶴学園の「家族の再生」にむけたドキュメント放送を見て感動し、子持山学園の職員全員で見て、勉強したい旨を伝えました。忙しい折にもかかわらず、番組のDVDを送ってくださいました。神戸での小舎制の全国大会では、困難児童への対応の仕方について、アメリカカボーイズタウンのエヴァリン先生が「愛情と技術は飛行機の両翼と同じにどちらも必要です」と話されました。子持山学園でも取り組んでいきたいと思いました。三月末、ボランティアの方が焼き肉パーティーを開いてくださいました。六十キロもある鉄板で肉や焼きそばをジュージュー焼いてくれました。畑でジャガイモを植える体験をさせてもらいました。ザスバの試合にも招待してもらいました。洗濯した衣類もたくさん送ってもらいました。年間通して本当に多くの方のお世話になっていきます。各種の行事は生活の節目であり大切にしていきます。五月五日の子どもの日には「感謝の集い」を計画しています。お世話になっていく多くの人と楽しい交流がもたらしいいと、子ども達と計画を練っています。



子どもの養育を考える 第6回 信仰心 目に見えないものを信じること 児童指導員 布施 聡一郎

今年春の便りである桜が、いつ咲いていいのかと足止めしてしまうような季節となった。冬から春へと暦を分ける春分の日。春分の日から数えて次の満月の次の日曜日「復活の大祝日（イースター）」と、定められている。子持山学園でも早天礼拝を児童・職員が守り、恒例のイースターエッグ探しを行った。

復活と聞くと、死んだ人が三次元の世界へ生き返って蘇生するというイメージを持つが、イエス・キリストの復活は、また違った感覚・意味合いであろう。イエスの死によって、私たちの罪が許され、救われ、そして神の御手に、永遠の生命に復活し、蘇ったという意味合いではないだろうか。

朝早くに墓に行くと、大きな墓石はどけられており、その姿はなかった。その出来事は、誰もが信じ難い出来事であったことは言うまでもない。しかし、その復活を信じることを、また目に見えないことを信じることに、その信仰心こそが救いにつながっているのではないかと、この信仰心「信じること、目に見えないものを信じること」こそ私が今携わっている仕事の原点だと思ふ。子どもの養育・成長は出て

こない。それでも日々成長し続ける子どもたちを信じ、祈り続ける。この祈りという行為もまた、目に見えるものではない。「神様、お願いします。」と、祈ったとしても、すぐに問題や悩みが解消されるわけでもない。それでも静かに祈る。

子どもたちは、私たち大人が思うより適応力を持ち、良く自然と成長している。私たち大人が想像する以上に将来に不安を感じ家族という絆・枠を模索している。しかし傲慢な私たち大人は、ついつい小言を言ってしまう。そんな時、私は心の中心で「また言ってしまった。でもいつか分かるから」と、何とも自分勝手な暗示をかけ、自分自身を納得させてしまう。

卒園し社会に出て、いつか家庭を持った時に、初めて気付いてくれればいい。あの時口うるさく小言を言われたことや学園での生活を。その時初めて目に見えない結果が出るのかもしれない。その時まで、少し小言を減らし、子どもを信じ、祈り続けていきたい。





めぐみホームの担当保育士になり二年が経ちました。ようやく余裕を持って子ども達と共に生活を送れるようになりました。

昨年四月に新しくめぐみホームの一員になったS君。初めは緊張してなかなかホームになじめませんでした。今では人一倍大きな声で笑い立派な小学一年生になりました。

小さいT君はちよっぴり泣き虫で甘えん坊だけど、以前とは比べ物にならないくらい立派なお兄さんになりました。

R君は思春期に入り難しい年頃ですが、きちんとやるべきことはしっかりとこなすところがとても立派です。

Y君は中学生になり毎日部活と勉強を頑張っています。照れ屋さんだけどとても優しいY君。

N君は塾にも通い始め、人一倍勉強熱心です。弟達が大好き

でちよっかいばかり掛けてしまい、少し煙たがられたりもします。

大きいT君は無事高校に進学することができました。鼻をほじったり足の爪をむしったり…。でも遠くの学校に通うために毎朝しっかりと自分で早起きしている姿は頼もしいです。



E君も無事高校に進学することができました。いつも自分に甘いE君だけど、自室で机に向かえるようになっただけ成長しました。

A君は本当に心身共に大きく成長しました。A君の成長はほかならぬ自分が積み上げてきた努力の賜物です。それを大切に自分を信じてさらに大きく強く逞しく成長してください。

A君は本当に心身共に大きく成長しました。A君の成長はほかならぬ自分が積み上げてきた努力の賜物です。それを大切に自分を信じてさらに大きく強く逞しく成長してください。

保育士 山田 美穂



月並みですが、今年も別れの三月がおとすれました。浅田ホームでも二人の女の子との別れがあります。一人はホーム変更による別れ。園の方針により、ほしホームへと引越します。新しいホームの先生や子ども達と早く馴染めるようお願いしながら、少し離れた所から今後とも関わっていかれたらと思います。

もう一人は高校を卒業して、自立の為の別れ。十二年前に就職し初めて担当した子でした。私の就職の動機は、「子ども達が希望を持ち、未来へと巣立つ姿を見届けたい」というもので、単純に人の夢や希望に触れ、自分も元気でいたかったのです。しかし子

ども達の未来は、夢や希望ばかりでは無く、不安や悩みも沢山あるようです。それでも小さく弱かった子が、自分の力で生活できるまで、心身ともに大きく成長してくれた事を嬉しく思います。卒園後も新しい人生のフィールドで、美しく賢く成長してくれる事でしょう。

私も目標を高く持ち、子ども達にエネルギーを与えられる人間になるよう努めたいと思います。巣立った子ども達、新年度も浅田ホームに居ますので、時々成長の様子を見せに来て下さいね。楽しみに待っています。

主任保育士 鈴木 まつみ



座

星たち～



私が当学園に入職してあつという間に半年が過ぎてしまいました。

初めてわかばの子どもたちと対面をした時、その中に、一人だけ悲しそうな目をしていいる子がいました。何故この子はこんな悲しい目をしていいるのだらうか、と疑問に思いつながら、以前私が勤めていた施設とは違う、「より家庭的」という児童養護施設の生活に戸惑いながら、私自身、始めは無我夢中で子どもたちと生活を送っていました。

学園の生活に徐々に慣れてきて、数ヶ月経った頃、私はこの子たちのために何か役に立つことが出来ているのだらうか、と自問自答するようになっていました。そんな時、私が来た時と比べ、子ども達

の表情に笑顔が増えてきたことに気付いたので。私が以前勤めていた施設で、ある上司が、「この子達が元気になるために、この子達が笑顔になるために職員が頑張らなければいけない！」と言っていたのを思い出しました。

この時、自分もこの子ども達のために少しは役に立っているのかな、と思えるようになりなりました。

そしてあつという間に新年度。卒園・退園をする子たちを送り出し、私がここに来た時には八名いた児童が今では五名となっていました。

毎日悩む日々の連続ですが、これから子どもたちの「笑顔のために」頑張っていきたいと思えます。

児童指導員 吉田 秀樹



三月は別れの時、五人の子ども達が高校を卒業して巣立って行った。就職内定率最低の年に、全員が就職することができた。もちろん子供達が頑張った結果であるが、晴れの日も雨の日も毎日送り出した職員の手助けを忘れてはならない。心身ともに成長する大事な時を学園で過ごした。毎日、穏やかに暮らしていたわけではない。他の子とケンカしたり職員とぶつかったり日常茶飯事…。自分の思い通りにいかない事が多い。親と暮らせない子ども達は、学園で生活している事をカミングアウトするきっかけと勇気をなかなか持てない。あなた達は何も悪くない堂々と生きていい。学園で育ったこと

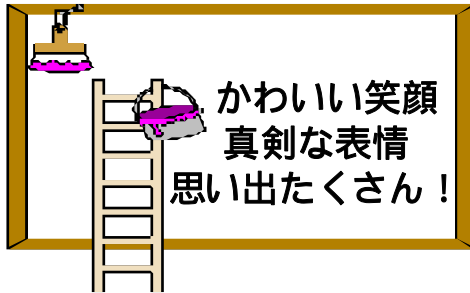


は恥ずかしいことではない。と思うのだが壁を越える事は難しい。先日、門の外から男の方が学園を眺めていたので声をかけると、男性が五才の頃に一年間、園にいたことがあり現在は新潟に住んでいる。伊香保に来たので立ち寄ったという。故中澤先生の事、大きな風呂に入り保育園に行っていた等々覚えていた。三十年も前の幼い日を懐かしみ家族で立ち寄ってくれた。若い二人と子どもさんを見て、とても穏やかな気持ちになれた。卒園した子ども達が自分の家族を持って、この学園で過ごした日々を思い出してくれる。家庭を築く基になることでの暮らしの大切さを改めて感じた。少しでも子ども達の成長の手助けをしたい。

調理員 柴崎 貴子

活動報告

- 平成二二年
- 9月～12月
- ・劇団四季「エルコスの祈り」子一三名
- ・運動会(各校、地域)
- ・JR東労組ボーリング大会 子一六名
- ・JR東労組旅のプレゼント 子一九名
- ・いのちの講和 子一一名
- ・大野靖之コンサート 子二名
- ・群養協ミニサッカー大会 子九名
- ・ザスパ草津観戦 子五名
- ・資生堂あなたらしさの魅力発見セミナー 子二名
- ・NPO ミュージックフォーチルドレン
ウエルコンサート 子二名
- ・子持山登山
- ・児童祝福式(七五三)
- ・おもちゃ王国へ 子六名
- ・学園内「詩・作文コンクール」
- ・善行会「お餅つき」
- ・クリスマス会(育成会、渋川教会)
- ・クリスマス礼拝、祝会(園内)
- ・年末年始帰省
- 平成二二年
- 1月～3月
- ・劇団四季
- ・「嵐の中の子どもたち」 子九名
- ・JR東労組「鎌倉初詣の旅」 子三名
- ・ヨロコビコンサート 子八名
- ・(地域)カルタ大会
- ・スキー教室、そり遊び 子三六名
- ・ザスパ草津大西シート 子七名
- ・渋川地区ALT来園、触れ合い
- ・子持ライオンズ パーベキュー大会
- ・退職職員送別会
- ・卒園生「壮行会」
- ・高校卒業業者五名(一般企業就職)
- ・金城浩二講演会 子四名(四月)

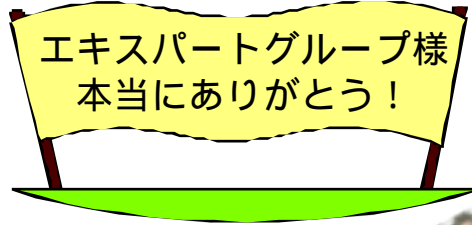


子どもたちの衣類を整理する戸棚が痛み、破損の状況がとてむひどい状態が何年も続いていました。職員が日曜大工で修理はするものの根本的な解決にはならず。また、学習机を置くスペースがなく、受験生が食卓で勉強する毎日が続いていました。そのような状況をエキスパートグループ様に相談させて頂いたところ、抜本的な改善を図るための環境整備助成事業として認めていただきました。

子ども、職員
工務店で試作品をもとにイメージを膨らませ何度も打ち合わせを行い、平成二十一年一月、全面改修が実現しました。改修された収納スペースには引き出し式の「机」が組み込まれ、念願だった「自分の机」が子ども一人ひとりと与えられました。

このご支援はエキスパートグループエージェントの皆さまの温かな心遣いが幾重にも重なりあつた集大成であると同っております。

日頃交流のある群馬エージェントの皆さま、本社担当課の皆さまの顔を思い浮かべながら、子ども共々感謝して使用させて頂きたい、そして、支援を受けるばかりでなく子どもたちの情緒の安定や幸せといった目には見えない「形」を多く生み出すことができたい。子どもたちの最善の利益のために最大限に生か



していきます。本当にありがとうございます。エキスパートグループ、エージェントの皆さま方の益々のご発展を祈念しております。



群馬エージェントの皆様と園庭で

学園を支えてくれる『ひび』

この度は、学習ボランティアという貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。今回の体験では、J君という素直で優しい生徒と一緒に過ごす中で、勉強の教え方や現在の中学生の様子などを知る事ができました。さらに、持山学園の素晴らしい様子も発見できました。それは、職員の方と子どもたちの距離がとて近いということでした。これは、お互いが信頼し合っているためだと思えます。そして中でも、一階の廊下に貼ってある学園の様子が紹介されている写真や絵が印象的でした。そこには家族としての学園が表現されており、持山学園の楽しい生活が表れていると感じていました。そのため、私はそんな持山学園に行くのがいつも楽しみでも温かいお出迎えと美味しいごはんを用意して下さいました。本当にありがとうございました。今後は今回勉強したことを活かせるよう頑張りたいです。

群馬大学教育学部三年 下田俊彦

学習ボランティアではお世話になりました。Mちゃん、志望校合格おめでとうございます。私もとてもうれしく感じました。私は大学で心理学を専攻していて、児童養護施設に興味があり、学習ボランティアをさせて頂いたことが、最初のきっかけになりました。持山学園の職員の方々に親切にしていただいたり、Mちゃんが楽しそうに勉強してくれたので、徐々に持山学園で学習ボランティアをすることが楽しくなりました。短い期間でしたが貴重な経験をさせて頂いたことがありありがとうございました。また何か機会がありましたらよろしく願います。

群馬大学教育学部

教育心理専攻 山崎唯



子どもの感想

(新高校生J君)

学習ボランティアを通して、二つの事を学びました。一つ目は、中途半端なところでやめない事。二つ目は、自分でやると決めたことは最後までやり抜くことです。この二つの事は、今までしていませんでしたが、学習ボランティアを始めてから少しずつ勉強をする意欲が出てきました。学習ボランティアの人との勉強は、わかりやすく説明をしてくれたり、イメージをしやすく教えてくれたので、自主勉強の時にとても役に立ちました。

こういった学習ボランティアを続け沢山の子をサポートして欲しいと思います。

(新高校生Mちゃん)

学習ボランティアの先生に勉強を教えてもらうのは三回目でした。あまり人と話すのは得意ではないので心配でしたが、いざやってみると緊張せずに話せて安心しました。そして、受験というプレッシャーを浴びながらも山崎先生に勉強を教わり、とても分かりやすく、細かい所まで教えてもらえました。

前期では、残念な結果に終わってしまいました。後期で力を出して山崎先生を喜ばせたいと心から思いました。

沢山迷惑をかけてしまいましたが、合格というゴールまでこれたのは、山崎先生のお陰だと思いい、とても貴重な経験となりました。本当に学べて良かったです。そして、山崎先生という女性に出逢えて良かったです。

そして、この時間を作ってくれた先生や、山崎先生に心から感謝を致します。本当にありがとうございました。

お心遣いに感謝致します

(09・8・10・4)
敬称略・順不同

寄付金

日本善行会群馬県北毛支部、中澤文子、陸川洋子、大塚廣未、中新井要子、山口道子、釘島伸博、エキスパートグループホールディングス(株)土屋道子、木村久子、土屋豊、柳澤敏美、棚橋由香里、加部孝子、(有)日健清晃、伸枝株式会社、アクティブエネレシジョン(株)舟見一雄、猪瀬一男、(有)ヒューマンタツチ、岩澤正則、柿沼真一、鳥生耕司、今井鉄雄、小川裕子、坂田道生、矢内晋作、斉藤医院、小野上地区更生保護女性会、伊藤和子、深沢安紀子、青木登志子、日本基督教団沼田教会、日本基督教団渋川教会、大橋木六、外山洋子、晴子、渋川皮膚科医院、石北医院、石北壽子、萩原則雄、島村美也子、エキスパートグループ群馬エージェンツ会、中野順夫、狩野恵理、須藤いづみ、島田卓爾・昌子、佐藤員子、武田りえ、武田孝作、布施英俊、布施妙子、布施功勇、大石喜久雄、桜井元子、M.E.A.T星野、(有)月建設、上原淳次、大瀧眞勝
他多数の各位

寄贈物品

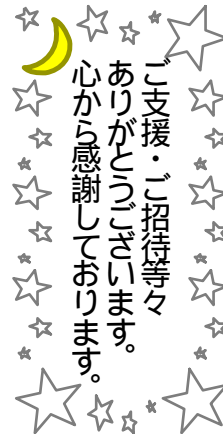
中澤達雄、湯本義博、武藤孝夫、宮川ゆう子、丹羽稔、(株)ユチユアン大、島田雄一、一場喜則、並木なつ江、原田和子、五十嵐研介、東洋英和女学院小学部、林莞美、(株)フレナス、(株)三國コカコーラボトリング、(株)ジャパンエナジー、柿沼亜耶、毎日新聞東京社会事業団、林宗嗣、小島禮子、日本出版販売(株)、(株)くもん大阪センター、福島康子、萩原潤、(株)二下り、坂本功、屋久島のタンカンを届ける会、星名利江、関口大平、東京ユニオンチャーチ、清水こす江、資生堂社会福祉事業財団、釘島綾台法律事務所、堺商店、飯塚麻衣、サンクグリーン前橋、矢内晋作
他多数の各位

ボランティア

児童交流、須藤いづみ、木村久子、中村光孝
学習、下田俊彦、山崎唯
リトミック、ピアノ、堀江慶子
書道、山口道子、大塚廣未
絵画教室、ピノキオ絵画教室
ベビーマッサージ、林弘子

掲示板

職員退職 新任職員就任のお知らせ
平成二年三月末をもちまして丸田舞華(保育士)が退職致しました。大変お世話になりました。
平成二年四月より萩原佐輝乃(保育士)が正規職員として採用となりました。今後ともご指導の程宜しくお願い致します。



「ご支援・ご招待等々」
ありがとうございます。
心から感謝しております。

富岡市かぶら文化ホール様
劇団四季ミュージカルへの招待

波川ロータリークラブ様
ザス八草津戦への招待

三原雪江様(元子持山学園指導員)
絵本を沢山。(作家みやまみよこ作「きょうはあそべない」)

ワールドメイト様
園のクリスマス会で沢山のプレゼント。

日本善行会群馬県北毛支部様
多額の寄付、一輪車、自転車などの寄贈。
年末にお餅つきのご奉仕。

NPO ミュージック・フォー・チルドレン様
ウエルコンサートへの招待

群馬県教育文化事業団様
劇団四季ミュージカルへの招待

JR東勢高崎地方本部様
「旅のプレゼント」、「ソフボール大会」、「ボート大会」、「鎌倉初詣の旅」等々
大勢が参加

ザス八草津様
大西シートへの招待

県共同募金会様「NHK東たすけあい」
高校三年生の自動車運転免許取得の資金に

エキスパートグループホールディングス様
園内の児童用収納建具改修のための助成

エキスパート児童福祉支援協会様

「育英奨学自立支援資金」制度において、二名の児童に対してご支援を、アパート契約費用、自動車免許取得のための不足分等々有効に利用

エキスパート群馬エージェンツ会様

中川希望塾「金城浩 講演会」への招待

軽井沢おもちゃ王国様
「おもちゃ王国の休日」として園内無料招待

篠原徹様

栗拾い、畑仕事体験等々。

子持ライオンズクラブ様
園内でハーベキューのご奉仕。

波川地区ALT様
園内に大勢の外国人が集まり異文化交流!!

お好み焼き「かんざい」様
学園童、職員全員食事招待。久しぶりの外食に大満足でした。

クリスマスカード、アィスカリム、イルミネーション、衣類、絵本、アニメ、ケーキ、野菜、自転車、マイクロバスの貸出、子どもとの触れ合い、励まし、寄付等々、大勢の皆さまの温かな善意の上に私たちの生活が成り立っております。紙面の都合でご紹介できず申し訳ございません。今後とも宜しくお願い申し上げます。

北極星

「わあ、お花が咲いているよ!」
芽吹く桜とともに、花を見上げる子どもたちの笑顔も春風に咲き、季節はようやく春の訪れを感じる頃となりました。

先日、中学校を卒業した女兒が家族に高校合格のお知らせをしました。電話で喜びを伝える娘、そして喜びを聞き、涙を流す父。私は、親子の温かいものに触れて涙が溢れてくると同時に、この場において感動を分かち合えた事になりました。ありがたい気持ちでいっぱいになりました。

入学式を迎えて楽しみに心踊る子どもや、不安を抱えて新社会人となる子ども。春からのスタートは様々です。
学園では、年度末に数名の卒園児や退園児が巣立ちました。私たち職員は、悲喜こもももに至る気持ちですが、子どもたちの笑顔のために、気持ちを新たに新学期を迎えています。

(五十嵐)